さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

富士山レモン 特産品に
ブランド化へ協議会設置
市川三郷町

峡南
飯野　柊平
皆川　陽登



「富士山レモン」を手に意見を述べる遠藤浩町長（右）　＝市川三郷町役場

市川三郷町は、新たに町の特産品とすることを目指す「富士山レモン」のブランド化に向けて協議会を設置した。町や生産者、町商工会などが意見を交わし、連携強化を図り、レモンの安定生産を促進することを目指す。

富士山レモンは、「璃の香」と呼ばれる品種で、実が大きく皮は薄く、まろやかな酸味などが特徴という。同町大塚を中心に栽培されている。町は20日、町職員や生産者ら16人による「町『富士山レモン』ブランド化推進協議会」を設立し、町役場で初めての会合を開いた。遠藤浩町長や生産者、JA山梨みらい担当者らが出席し、レモンについて意見交換した。

JA担当者は「璃の香」の販売価格などを説明。現在の課題として、生産量が不安定であることや流通先の確保、冬の寒さによる凍霜害が挙がった。一方、町内飲食店から町に対してレモンを使いたいとの要望が寄せられていることから、飲食店への販売を勧める意見もあった。

町産業振興課によると、昨年の富士山レモンの生産量は約800㌔で、今年は1㌧を目指している。現在は主に町内の直売所で販売している。〈皆川陽登〉

（2026 年 10 月 27 日付 山梨日日新聞 16 面）

問1

市川三郷町が、新たに町の特産品とすることを目指すレモンの品種名を答えてください。

問2

富士山レモンの特徴を答えてください。

問3

今年の富士山レモンの生産量は、昨年の何倍を目指していますか。

---倍

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.